

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1101003

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○公営住宅緑町団地建替事業—平成20年度から24年度の5ヶ年 ○公営住宅沢木団地建替事業—平成23年度 ○公営住宅新日の出団地建替事業 ・平成24年度基本・実施設計
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 良好な住宅・宅地の供給	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	公営住宅整備事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	公営住宅の建替え		#N/A	
事業目標	公営住宅建替40戸	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	1 入居者による住民説明会の開催	関係例規・法令名	2 公営住宅法	
住民協働		関係個別計画名	2 公営住宅ストック総合活用計画	

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	○公営住宅緑町団地建替事業 ・緑町団地建替—8棟32戸 ・団地内整備—団地内道路171m 通路140m 駐車場整備32台 児童遊園400㎡ ・既設住宅除却—9棟36戸 ・移転費—25件 ○公営住宅沢木団地建替事業 ・沢木団地建替—2棟4戸 ・団地内整備—通路65m、駐車場6台 ・既設住宅除却—2棟8戸 ○公営住宅新日の出団地建替事業 ・基本・実施設計—1～3LDK10棟38戸	公営住宅緑町団地 建設—2棟8戸 団地内道路—L=95m 団地内通路—L=29m 駐車場整備—8台 既設除却—1棟4戸 移転費—8件	公営住宅緑町団地 建設—2棟8戸 団地内通路—L=28m 駐車場整備—8台 既設除却—2棟8戸 移転費—8件	公営住宅緑町団地 建設—2棟8戸 団地内道路—L=29m 団地内通路—L=48m 駐車場整備—8台 既設除却—3棟12戸 移転費—8件 敷地造成工事	○公営住宅緑町団地 建設—1棟4戸 団地内道路—L=47m 団地内通路—L=24m 駐車場整備—4台 既設除却—3棟12戸 敷地造成工事 ○公営住宅沢木団地 建設—2棟4戸 団地内通路—L=65m 駐車場整備—6台 既設除却—2棟8戸 敷地造成工事	○公営住宅緑町団地 建設—1棟4戸 団地内通路—L=11m 駐車場整備—4台 児童遊園—1個所400㎡ ○公営住宅新日の出団地 基本・実施設計 1LDK～3LDK10棟38戸	
	事業費(千円)	724,264	155,100	129,627	167,300	166,500	105,737
計 画 事 業 費	財源内訳	258,338	49,087	47,131	61,880	37,558	
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	465,926	106,013	82,496	105,420	103,818	68,179	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	713,357	149,292	126,739	165,851	110,411	
	財源内訳	289,342	65,157	54,353	64,381	43,283	
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	424,015	84,135	72,386	101,470	98,896	67,128	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)						
	○社会資本整備総合交付金	【評価・実績】	(実施内容等) 建設—2棟8戸 団地内道路—L=95m 団地内通路—L=29m 駐車場整備—8台 既設除却—1棟4戸 移転費—8件 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 建設—2棟8戸 団地内通路—L=41m 駐車場整備—8台 既設除却—2棟8戸 移転費—8件 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 建設2棟8戸 既設除却3棟12戸 団地内道路—L=29m 団地内通路—L=48m 駐車場整備—8台 移転費—2件 敷地造成工事 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 建設 緑町・沢木 3棟8戸 団地内道路—L=47m 団地内通路—L=89m 駐車場整備 10台 既設除却 5棟20戸 敷地造成工事 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 建設 緑町 1棟4戸 団地内通路—L=11m 駐車場整備—4台 新日の出団地基本・実施設計 1LDK～3LDK10棟38戸 旧日の出保育所除却 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	8戸	8戸	8戸	8戸	4戸
		年度達成率	96%	98%	99%	97%	104%
		全体達成率	21%	38%	61%	83%	98%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	公営住宅整備事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公営住宅入居者、町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	建替計画戸数の確保	
【抱える課題やニーズは】	老朽狭隘公営住宅の住環境整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	居住水準の向上と安全で良好な住環境整備	① 建設戸数の実績	目標年度	平成24年度
			目標値	4戸
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	良質な住宅の供給及び良好な住環境の確保	②	実績値	4戸
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に発注し、公営住宅緑町団地1棟4戸の建替を実施した。	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民に対する住宅供給施策としての公営住宅の老朽化・狭隘化の解消は町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	建替事業の推進により、老朽・狭隘住宅の解消と安全で安心な住環境の向上が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札によって事業費が抑制されたこと及び建替による修繕等の維持管理費が抑制されたことは効率的と判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

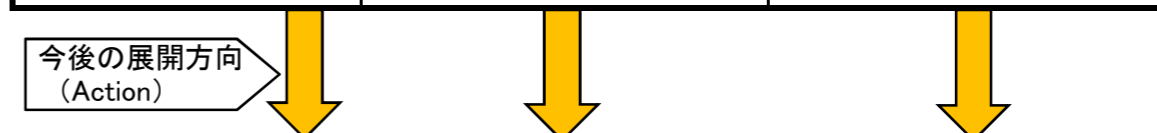
公平	判断の理由	事業実施により、良好な住環境が確保されたことは公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
老朽・狭隘な住宅の解消と安全で良好な住環境の確保のための公営住宅整備は、今後も計画どおり進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
公営住宅ストックの効率的な更新整備を行い、多様化する住宅ニーズや公営住宅需要への的確な対応のため、必要な事業であり、継続・現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1101004

政策目標	4	うるおい・雄武	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18	住環境の整備	事業優先度	A		
単位施策	1	良好な住宅・宅地の供給	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	雄武町快適住まいづくり促進事業		見直し年度			
事業期間	平成23年度～平成24年度		担当課	11	町有施設整備室	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	新築及び改修戸数		関係課	#N/A		
事業目標	新築・改修 35戸/年		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	1		関係例規・法令名	1	⇒	
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容
計画内容	勤労者世帯・子育て世帯及び高齢者等世帯に対し、住宅及び住環境の整備による定住への施策を目的とし、住宅建設及び改修を行う世帯に資金の一部を補助する。 平成23年度から5ヶ年間				快適住まいづくり支援 (社会資本整備総合交付金)	快適住まいづくり支援 (社会資本整備総合交付金)
	計画事業費	事業費(千円) 60,000 国庫支出金 12,000 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 48,000	0	0	0	20,000 6,000
実績事業費	事業費(千円) 87,095 国庫支出金 9,653 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 77,442	0	0	0	37,656 4,309	49,439 5,344
関連事項	(特定財源の詳細等) ○社会資本整備総合交付金 【評価・実績】	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) 補助金交付件数 63件 新築 10件 中古住宅購入 4件 増改修工事 49件 子供加算 7件 認証材加算 4件 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 補助金交付件数 96件 新築 5件 中古住宅購入 2件 増改修工事 89件 子供加算 2件 認証材加算 2件 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値			35戸	35戸
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	188%
		全体達成率	0%	0%	0%	63%
		事業進捗状況			☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆

事業名	雄武町快適住まいづくり促進事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	利用者件数の維持	
【抱える課題やニーズは】	町民の定住対策としての住環境の整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民の安心快適な住環境の確保	① 申請件数の実績	目標年度	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	住環境整備により定住を促進し、活力あるまちづくりを推進する。		目標値	平成24年度
			実績値	35戸
			達成度	96戸
			達成度	274.3%
		②	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	社会資本整備総合交付金の活用	国土交通省所管の社会資本整備総合交付金事業として、交付金の導入を図り、町民に対し事業の普及を図った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の定住対策として、住環境の安定及び向上のための整備に対し、一部支援することは町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当事業の利用者件数については、事業として成果が得られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	当事業により、町民の居住の安定が図られたことは効率的と判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

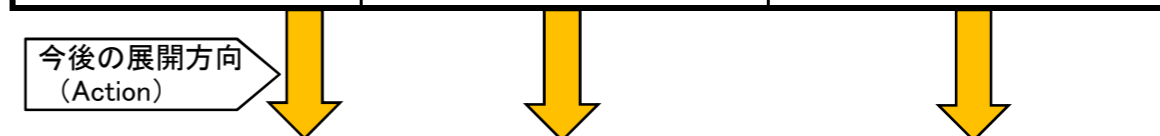
公平	判断の理由	住環境の安定及び向上のための住環境整備への支援策による定住対策が図られたことは公平である
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
定住対策としての居住の安定・向上への支援については、新築件数の増加、既存住宅の改修や流通促進などの施策効果がみられ、今後においても事業を進めることが適当と判断する		



継続/現状維持		
町民が行う住環境の整備に対し一部を補助する事業については、居住の安定・向上による定住対策として必要であり、継続、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1101007

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○既設町営住宅屋根葺替改修 ・平成25年度一潮見団地(2階建)5棟
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	既設町営住宅団地環境整備事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	既設町営住宅の維持		#N/A	
事業目標	浴室改修1団地、屋根改修5団地	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	1	関係例規・法令名	2 公営住宅法	
		関係個別計画名	2 公営住宅長寿命化計画	

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	○日の出団地浴室改修工事2棟6戸 ○既設町営住宅団地屋根塗装改修工事 ・日の出団地—2棟 ・末広二区団地—3棟 ○既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 ・宮下団地—7棟 ・潮見団地—5棟 ・新町団地—8棟	日の出団地浴室改修 2棟6戸 既設町営住宅団地屋根塗装改修 幌内団地—3棟	既設町営住宅団地屋根塗装改修 日の出団地—2棟 末広二区団地—3棟	公営住宅長寿命化計画策定	既設町営住宅屋根葺替工事 宮下団地—7棟	既設町営住宅屋根葺替工事 新町団地—8棟	
	事業費(千円)	29,510	6,460	3,450	3,000	7,000	9,600
計 画 事 業 費	財源内訳	11,053	2,233		1,350	3,150	4,320
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	18,457	4,227	3,450	1,650	3,850	5,280	
実 績 事 業 費	財源内訳	28,232	6,118	3,182	2,835	6,773	9,324
	国庫支出金	11,657	2,191		1,418	3,386	4,662
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	16,575	3,927	3,182	1,417	3,387	4,662	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ○社会資本整備総合交付金 【評価・実績】	(実施内容等) 日の出団地浴室改修 2棟6戸 既設町営住宅団地屋根塗装改修 幌内団地—3棟 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 日の出団地他1団地屋根塗装改修 日の出団地2棟6戸 末広二区団地3棟12戸 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 公営住宅長寿命化計画策定 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 宮下団地屋根葺替—7棟 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 新町団地屋根葺替—8棟 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	浴室改修6戸、屋根塗装3棟	屋根塗装5棟18戸	屋根塗装7棟	屋根葺替7棟	屋根葺替8棟
		年度達成率	95%	92%	95%	97%	97%
		全体達成率	21%	32%	41%	64%	96%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	既設町営住宅団地環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町営住宅入居者・町営住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	既設戸数の確保								
【抱える課題やニーズは】	建替までに相当の期間を要する団地住棟に対する適切な維持管理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	適切な維持管理による居住環境の向上	① 実績戸数 改修戸数の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20戸(8棟)</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>20戸(8棟)</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	20戸(8棟)	実績値	20戸(8棟)	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	20戸(8棟)										
実績値	20戸(8棟)										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	良好な住環境と既存ストックの長寿命化の確保	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、町営住宅新町団地8棟20戸の屋根葺替工事を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	住棟・住戸について、適切な維持管理による良好な住環境を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	適切な維持管理により、良好な住環境と既存ストック住宅の長寿命化が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	市場単価の調査による適正な積算価格での発注及び適切な維持かんりによる既存ストック住宅の長寿命化が図られることは、コスト縮減につながり効果的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

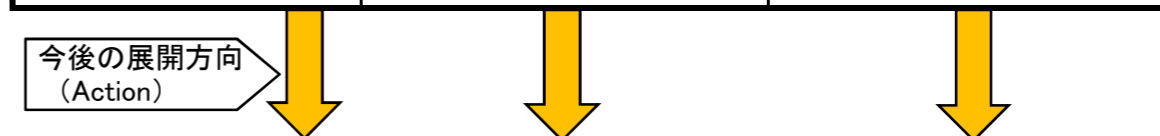
公平	判断の理由	事業実施により、良好な住環境が確保されたことは公平であると判断される。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公営住宅ストックの長寿命化に資する計画的維持管理、修繕及び居住環境の維持向上のための住環境整備は、今後も計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
居住性や安全性が確保され長期的な活用を図るべき公営じゅうたくについて、長寿命化型改善事業による住環境整備は必要であり、継続、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1101008

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	町有施設耐震化事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	旧耐震構造公共施設の耐震化施設数		#N/A	
事業目標	非木造公共施設15箇所の耐震化及び木造公共施設の耐震補強	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名	2 耐震改修促進法	
		関係個別計画名		

全体計画		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計画内容	不特定多数の人が利用する公共施設で、昭和56年以前に建設された建物の耐震化 ・平成19年度耐震診断結果による耐震改修実施設計及び耐震改修 ・耐震改修促進計画の策定 ・平成19年度未実施の公共施設耐震診断・実施設計	・耐震改修促進計画の策定 ・H19耐震診断による耐震改修実施設計	・耐震診断—3施設 ・木造施設耐震補強工事	・H19耐震診断による耐震改修	・H21耐震診断による実施設計—1施設	H23実施設計による耐震改修工1施設	
	事業費(千円) 国庫支出金 7,006 道支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 64,515	71,521 9,550	7,040 1,346	49,500 3,854	2,291 760	3,140 1,046	
計画事業費	事業費(千円) 国庫支出金 18,405 道支出金 0 地方債 3,300 その他 0 一般財源 48,120	69,825 8,644	6,815 1,131	49,389 14,198	1,890 630	3,087 1,029	
	(特定財源の詳細等) ○社会資本整備総合交付金 【評価・実績】	(実施内容等) 耐震改修促進計画の策定 役場庁舎の耐震改修実施設計 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 町有施設耐震診断 沢木公民館他2施設 木造避難施設耐震補強工事 沢木寿の家他11施設 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 役場庁舎の耐震改修 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 武道センターの耐震改修実施設計 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 武道センターの耐震改修 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
関連事項	第4期総合計画関連(継続有り)	年度目標値	計画策定・実施設計	耐震改修2施設	耐震改修1施設	実施設計1施設	耐震改修1施設
	年度達成率	91%	97%	100%	82%	98%	
	全体達成率	12%	22%	91%	93%	98%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名 町有施設耐震化事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	佐竹 邦夫
	評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民・町有施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	耐震化率	
【抱える課題やニーズは】	地震による公共施設の安全確保		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	大地震により倒壊しない安全な公共施設づくり	① 補強施設数 筋交補強施設数	目標年度	平成24年度
			目標値	1施設
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	公共施設の耐震化により安全性と避難施設の確保	②	実績値	1施設
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、避難施設となる武道センターについて、壁筋交い補強工事を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地震時における不特定多数の人が利用する公共施設の安全性の確保や避難場所・防災拠点施設となる公共施設の耐震化は町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	公共施設の耐震化の推進により、安全で安心な施設づくりが図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	市場単価の調査による適正な積算価格で発注されたことは効率的である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

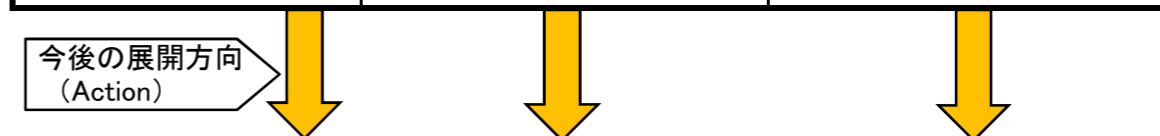
公平	判断の理由	事業実施により、公共施設の耐震性の向上が図られたことは公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業が目標どおり達成された		



終了		
平成24年度事業完了		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止